「JERAゼロエミッション2050 日本版ロードマップ」と「JERA環境コミット2030」

JERAゼロエミッション2050 日本版ロードマップ 2030年まで 2040年まで 2050年まで 実現に向けて実行する期間 実現に向けてチャレンジする期間 2030年まで CO₂排出原単位 ゼロエミ 政府が示す2030年度の長期 20% エネルギー需給見通しに基づく ッション 当社事業からのCO2 国全体の火力発電からの排出 保有する非効率な石炭火力 ゼロエミッション火力 排出量を実質ゼロへ 原単位と比べて20%減を実現 (超臨界以下) を全台停止・廃止 2030年代前半 2040年代 混焼率20% 実証試験の結果を踏まえて詳細決定 実機の石炭火力プラントに 保有石炭火力全体における 発電所リプレースに伴い おける実証(予定:碧南火力) アンモニア混焼率20%を達成 アンモニア専焼へ移行 技術的課題の解決 (水素キャリアの選定) 2030年代 水素混焼 アンモニア、液化水素、メチルシクロヘキサン (MCH)等 から技術的・経済的に最適な水素キャリアを選択 実機の発電プラントに おける安定運転の確認 2050年時点で専焼化できない 発電所から排出されるCO2は 再生可能 洋上風力を中心とした開発促進 オフセット技術やCO2フリー エネルギー LNG等を活用 蓄電池による導入支援 本ロードマップは、政策等の前提条件を踏まえて段階的に詳細化していきます。前提が大幅に変更される場合はロードマップの見直しを行います。 CO。フリーLNGの利用も考慮しております。

JERA**環境コミット**2030

JERAはCO。排出量の削減に積極的に取り組みます。国内事業においては、2030年度までに次の点を達成します。

- ▶ 石炭火力については、非効率な発電所(超臨界以下)全台を停廃止します。また、高効率な発電所(超々臨界)へのアンモニアの混焼実証を進めます。
- ▶ 洋上風力を中心とした再生可能エネルギー開発を促進します。また、LNG火力発電のさらなる高効率化にも努めます。
- ▶ 政府が示す2030年度の長期エネルギー需給見通しに基づく、国全体の火力発電からの排出原単位と比べて20%減を実現します。

「JERAゼロエミッション2050 日本版ロードマップ」、「JERA環境コミット2030」は、脱炭素技術の着実な進展と経済合理性、政策との整合性を前提としています。当社は、自ら脱炭素技術の開発を進め、 経済合理性の確保に向けて主体的に取り組んでまいります。